



コミュニティ・スクールとは？

「学校運営協議会」が設置された学校の通称として、「コミュニティ・スクール」と呼ばれています。

「学校運営協議会」は、保護者や住民、有識者などから構成され、学校の運営に意見を述べたり、基本的な方針を承認したりすることができます。この制度は、公立学校の運営に保護者や地域住民の意見を反映させる仕組みです。

学校・家庭・地域の三者が双方向の関係を築く中で、「地域の子どもを地域で育てる」ことを具体化することが、コミュニティ・スクールの目指すところです。



協議：学校運営構想・コミュニティスクールみなかぜについて

・今年度の重点目標
他者とのよりよい関係を築き、ともに困難を乗り越える子どもの育成
み：認め合い な：仲間と共に か：考え行動し ぜ：全力でやり遂げる

▶今年度も感染対策をしっかりと行いながら、家庭・地域のみなさんと行事や取組を行う中で、課題についてじっくりと話し合い、考えたことを実行し、最後まであきらめずにやり遂げる子どもと一緒に育てていく。
全会一致で承認いただきました。

説明：あいさつ運動①について

・総務委員会を中心に「あいさつ運動」を行った。今回は「あいさつビンゴ」(レベル1~3)に取り組み、各クラスごとにポイントをためていった。ゲーム感覚で楽しくあいさつ運動に取り組むことができた。

しかし、学級差も見られたため、意識を高めていく必要がある。あいさつ運動②は10月に南風校区全体で行う予定である。



令和4年度の学校運営協議会委員のみなさんです！

- 会長 森 研一 (元校区運営委員会会長)
- 副委員長 久我 智美 (校区社会教育委員)
- 委員 那須 信樹 (学識経験者)
- 委員 坂口 恵一 (南風コミュニティセンター長)
- 委員 渋谷 栄一 (スポーツ少年団代表)
- 委員 秋吉 完治 (南風校区運営委員会会長)
- 委員 柴田 卓 (共創プラン推進委員会委員長)
- 委員 郷原 真一 (PTA会長)
- 委員 梅田 摩弓 (PTA書記)



意見交流

- ・「あいさつビンゴ」は発想がとても素晴らしい。レベルが少しずつ上がっていき意欲的に取り組める。
- ・学級差が見られるならば、レベル毎の表彰もよかったのではないかと
- ・子どもが教師を評価する(あいさつ)のもいいのではないかと
- ・あいさつ運動②では、中学生と一緒に取り組む事でお互いにより効果があると思う。
- ・地域の人と子どもが関係を作るには「環境美化」がいいと思う。5年生の総合等の取組もあるのであれば早めに取り組んだ方がよい。

具体的にどんなことをしているの？



今年度は年間4回の協議を行います。第1回は会長・副会長の選任、校長より学校経営構想および「コミュニティ・スクールみなかぜ」についての提案、令和4年度の計画の説明、5月までの教育活動についての説明等を行いました。また、協議の中で様々な御意見を頂きました。

(詳細は右のページ)

第2回は10月22日(土)に行います。

本年度も「みなかぜあったカード」の投函をお願い致します。

皆様のご協力により、昨年度も「みなかぜあったカード」の投函をいただき、子どもたちに紹介することができました。子どもたちは自分の善行を認めてもらい、大変喜んでいました。

来客用玄関を入ったところとコミュニティセンターにカードとポストを準備しています。また、メールやFAX、電話でも受け付けています。(カードはホームページにも掲載しています)子どもたちの善行が広がり、地域全体で子どもたちのよさを共有できればと思います。

TEL 092-331-2111 FAX 092-331-2112

E-mail minakaze@itoshima-fko.ed.jp

